

講演会 「原発事故から8年 福島における小児甲状腺がんの多発」



上:「沖縄・球美の里」で保養をする福島の子どもたち (沖縄県・久米島町)
下:「沖縄・球美の里」での甲状腺検診



「希望 (ナデジタ)」で保養をするベラルーシの子どもたち (ベラルーシ・ミンスク州)



チェルノブイリ原発事故から33年。被災地では次世代の子どもにも健康被害は続いている。一方、8年が経過した福島原発事故もいまだ収束していない。事故現場は危険にあふれているというのに、政府は有害無益な除染を行い、避難指示を解除、20mSv帰還政策を強行している。小児甲状腺がんが数十倍に多発していても被ばくとの関係は考えにくい、という。

このような今、市民はなにをすべきか？

2019年
4月21日(日) 18:30開場
19:00開演

ココネリホール

練馬区立区民・産業プラザ3F

西武池袋線・西武有楽町線・都営地下鉄大江戸線 練馬駅 北口徒歩1分

定員300名 入場料●予約800円/当日1000円

※予約受付は4/18(木)午後3時まで。

定員になり次第お申し込みを締め切ります。

講演 崎山比早子

医学博士
元放射線医学総合研究所主任研究官
高木学校・原子力教育を考える会メンバー
「3.11甲状腺がん子ども基金」代表理事



フルーツ演奏 吉原りえ

支援活動の報告

黒部信一「未来の福島こども基金」代表・小児科医

佐々木真理「チェルノブイリ子ども基金」事務局長



問合せ/申込先 ●チェルノブイリ子ども基金 〒177-0041 東京都練馬区石神井町3-16-15-408

TEL/FAX 03-6767-8808 E-mail cherno1986@jcom.zaq.ne.jp

主催 ●チェルノブイリ子ども基金/未来の福島こども基金

賛同金募集中

一口1,000円 郵便振替口座 00160-4-98316 口座名 チェルノブイリ子ども基金

☆この催しの収益は、チェルノブイリと福島原発事故で被災した子どもたちの救援金にあてられます。



ベラルーシの放射線汚染地区に住む子ども専用の保養施設「希望」で保養をする病気の子どもたち（2018年8月撮影）。チェルノブイリ子ども基金は1996年より甲状腺がんの手術を受けた ウクライナとベラルーシの子どもたちの保養プロジェクトを行っている。現在は脳腫瘍、目の腫瘍、腎臓がんなど、さまざま病気の子どもを保養に招待している。



チェルノブイリ事故当時に子どもだった世代は、親となり自分の子どもを持つようになった。チェルノブイリ子ども基金は甲状腺手術を受けた親とその家族の保養プロジェクトも行っている。2018年5月「希望」で行われた保養に参加した親子。



「沖縄・球美の里」2012年7月に沖縄県の久米島に設立した、国内では唯一通年で利用できる福島の子どものための保養施設。毎回約10日間、福島の子どもの保護者約50人を受け入れている。豊かな自然に触れ合えるさまざまなプログラムが組まれている。2019年1月まで、子ども3,449人、保護者834人、計4,283人が保養に参加した。

<チェルノブイリ子ども基金>

チェルノブイリ原発事故被災地の母親たちの呼びかけを受け、募金活動を始めたのをきっかけに、1991年4月設立。これまでに医療機器、医薬品、ミルク、教材、放射線検知器のほか、救援物資数十トンを被災地に贈っている。また、放射能汚染地区に住む子ども専用の保養施設「希望」（ベラルーシ）に、1994年開設当初より運営費・保養費の一部を支援、1996年7月からは毎年、チェルノブイリ事故被災地のベラルーシとウクライナの病気の子どもたちのための保養プロジェクトを行っている。

<http://ccfj.la.coocan.jp/>

郵便振替口座：00160-4-98316 口座名：チェルノブイリ子ども基金

※他の金融機関からゆうちょ銀行へお振込の場合

店番：019 店名：〇一九店（ゼロイチキュー店）

預金種目：当座 0098316

○崎山比早子

医学博士 千葉大学医学部大学院卒

元マサチューセッツ工科大学研究員、元放射線医学総合研究所主任研究官、元国会東京電力福島第一原子力発電所事故調査委員会委員、高木学校・原子力教育を考える会のメンバー、「3.11甲状腺がん子ども基金*」代表理事。

*東京電力福島第一原子力発電所事故以降、甲状腺がんや甲状腺疾患、その他、被曝影響によると思われる病気に苦しむ子どもなどへの支援と被ばく影響に関する健康問題の解決を目的に2016年9月に設立。

<https://www.311kikin.org/>

○吉原りえ

上野学園大学音楽学部器楽学科フルート専門卒業。2003年より新潟大倉ブナ林野外コンサートを、2006年よりフルートリサイタルを毎年開催。東北大震災復興支援コンサートや施設慰問コンサートなど、社会貢献活動にも精力的に取り組んでいる。2016年4月、チェルノブイリ子ども基金・未来の福島こども基金主催のチェルノブイリ・福島救援イベントに出演。

○黒部信一

「未来の福島こども基金」代表、「チェルノブイリ子ども基金」顧問、小児科医、すずしろ診療所所長。

1941年東京生まれ。1966年、慶応大学医学部卒業。その後、総合小児科医として、国立埼玉病院、吹上共立診療所、堀ノ内病院をへて、2012年すずしろ診療所所長となる。医療でのX線撮影のずさんさから、医療被曝低減運動を起し、小中学校での胸部X線検診の廃止を実現する。その縁から、チェルノブイリ子ども基金に誘われ、現在は顧問を務める。2011年3月11日の原発事故後、日本の子どもたちを救済しようと「未来の福島こども基金」をつくり代表となる。

○佐々木真理

「チェルノブイリ子ども基金」事務局長。会社員であった1998年より「チェルノブイリ子ども基金」のボランティアとして、ウクライナとベラルーシの保養施設で甲状腺手術後の子どもたちに日本文化教室（少林拳法、書道など）を開催。その後ボランティアとして毎年現地を訪問。2005年より「チェルノブイリ子ども基金」スタッフ、2008年より事務局長。2016年、ウクライナに多大な貢献を果たした女性として同国政府より「公妃オリガ勲章」受章。

<未来の福島こども基金>

チェルノブイリ子ども基金の姉妹団体として2011年6月に設立。福島原発震災以降、食品の放射能測定器とホールボディカウンターを福島県内の市民測定所に支援した。現在は、福島の子どものための保養施設「沖縄・球美の里」と、食品の放射能検査や甲状腺検査に取り組み検診センターを開設した「いわき放射能市民測定室たらちね」を支援している。

<http://fukushimachildrensfund.org/>

郵便振替口座：00190-0-496774 口座名：未来の福島こども基金

※他の金融機関からゆうちょ銀行へお振込の場合

店番：019 店名：〇一九店（ゼロイチキュー店）

預金種目：当座 0496774